

第1学年 国語科

1 学習方法

使用教材	教科書：国語1年（光村図書） 補助教材：国語の学習1（明治図書）国語活用資料集（新学社）、役立つ文法（正進社）、単元別漢字マスター1（学宝社）	持ち物	・教科書・ノート ・ワーク・活用資料集 ・文法 ・漢字問題集 ・習字道具
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物をせず授業に参加し進んで発表する。 授業での先生の指示や説明、友達の発言をよく聴く。 丁寧なノートを作る。 わからないことは質問し解決する。 提出物は期日を守って必ず提出する。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 出された宿題はその日のうちにする。 授業で習った部分のワークは、その日のうちに進めておく。 漢字や文法の学習は繰り返し行う。 答え合わせは、急がず正確に行う。間違えた問題はくり返し解く。 新しい単元に入ったら、わからないことばの意味を辞書で調べる。 読書をしたり新聞を読んだりして、日頃から文字を読むようにする。 	

2 評価について

評 価 観 点		評 価 の 方 法
①国語への関心・意欲・態度	日本語や日本語文化に対して関心をもち、意欲的に授業や家庭学習に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加の仕方や態度 ノート、ワーク、プリント等の課題への取り組み方
②話す・聞く能力	自分の感想や意見を持ち、発表することができる。他人の意見、情報を正しく聞き取り、自分の考えを深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言内容 ・班活動 聞き取りテスト ・スピーチ
③書く能力	言葉のきまりを理解し、読みやすく正しい文字で自分の考えや思いをわかりやすく書き表すことができる。 構成を考えて的確に書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 作文、感想文などを書く力 ノート、課題への取り組み 定期テスト
④読む能力	さまざまな文章の要点や主題を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言内容 ノートなどの記述状況 定期テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	配当漢字の読み書きができ、日本語の文法や、特色を理解している。 字形を整え、楷書や行書の書き方を理解して書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 漢字ノート 定期テスト 小テスト 書写作品

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	野原はうたう さまざまな表現技法 声を届ける・書き留める・調べる 花曇りの向こう 漢字の組み立てと部首 わかりやすく説明しよう ～観点を立てて書く 情報を的確に聞き取る ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まってスピーチをする 情報の集め方を知ろう 話し言葉と書き言葉 【選択】詩の世界 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 気に入った言葉に気持ちをこめて音読する。 聞き手を意識して話し、ノートの書き方を考える。 場面や登場人物の描写や変化に着目して読み取る。 生活の中から、伝える目的や相手を決めて情報を集め、わかりやすい構成を考えて（原稿用紙に）書く。 メモの取り方を学ぶ。 段落の役割や関係に注意して文章の構成や内容を捉える。 筆者の説明の仕方の工夫について考え、自分のものの見方や考え方を広げる。 話の構成や順序を工夫し、伝えたいことを整理して、聞き手にわかりやすくスピーチする。 本などから情報を集めるための方法を理解する。 話し言葉と書き言葉の違いを考え、特徴を理解する。 詩の表現の特徴をとらえ、描かれた情景を想像する。 言葉にはどのような力があるのか読み取り、考えを深める。 言葉の単位とその働きについて理解する。
二学期	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに シカの「落ち穂拾い」 ～フィールドノートの記録から 漢字の音訓 指示する語句と接続する語句 いろは歌 蓬莱の玉の枝～「竹取物語」から 今に生きる言葉、書写 幻の魚は生きていた	<ul style="list-style-type: none"> 表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いをとらえながら自分のものの見方や感じ方を見つめ直す。 登場人物の行動や情景描写などに着目し、心情を読み取る。 文章と図表との関連を考えながら説明の文章を読む。 指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解する。 仮名遣いやリズムに注意して音読し、古文独特の表現に慣れる。 中国の古典に由来する言葉が、今も生活の中に生き続けていることを知り、繰り返し音読して漢文特有の言い回しに読み慣れる。 毛筆を用いて、行書で、漢字仮名交じりで書く。 中心となる文に着目しながら、文章の要旨をとらえる。 筆者の考えを基に、人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深める。
三学期	グループディスカッション 文法への扉2 言葉の関係を考えよう 少年の日の思い出 文法への扉3 単語の性質を見つけよう 根拠を明確にして魅力を伝えよう～鑑賞文 漢字の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの方法を知る。 自立語・付属語、活用する語・活用しない語を理解する。 さまざまな表現技法を学び、自分の文章表現を豊かにする。 登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりをとらえる。 品詞を学ぶ（活用がある・活用がない、自立語・付属語） 作品の魅力が伝わるよう根拠を明確にして文章にまとめる。 いろんな文章に親しみをもち、自分なりの考えや意見を持つ。

第1学年 社会科

1 学習方法

使用教材	教科書： 中学生の地理（帝国書院） 新しい社会歴史（東京書籍） 補助教材： 中学校社会科地図（帝国書院） 三泗地区地形図・歴史地図 地理の資料（正進社）、 社会の自主学习地理（新学社）、学び考える歴史（浜島書店）、社会の 自主学习歴史（新学社）		持ち物 ・教科書 ・地図帳 ・ワーク ・ノート ・資料集
	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートを丁寧にしっかりととろう。→色ペン（2～3本）や色鉛筆を上手に使おう。 ・テストや授業プリントをきちんとファイリングして必要なものはノートに貼ろう。 ・教科書の大事なところや図をチェックしよう。 ・わかったことは積極的に挙手，発言しよう。 ・振り返りとして、わかったことや疑問に思ったことをノートにまとめてみよう。 	
学習方法	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から世界や日本の政治や出来事（ニュースや新聞を見てみよう）、社会的事象に関心をもち、わからない語句等があるときは資料集等を使って調べよう。ワークで繰り返し復習しよう。 ・その日の授業のポイントとなる語句，人物，出来事等を何度も口にしたり書いたりして覚えよう 	

2 評価について

	評価観点	評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	「社会の学習に対して意欲的に取り組む。」 ○発言，作業活動の取り組み方。 ○ノートの中身やまとめ方。 ○準備や課題の内容，提出期日の厳守。	・学習活動への参加の意欲や態度 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容
②社会的な思考・判断・表現	「自分の考えをまとめ，表現できる。」 「社会的事象を多面的に考察・判断できる」 ○事実を結びつけたり予想したりして筋道を立てた発言や論述ができる。	・小テスト，定期テスト ・授業での発言内容，発言の仕方 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容 ・課題内容の理解
③資料活用の技能	「資料を正しく読み取るとともに，適切に選択し活用できる。」 ○地図，統計，図表，史料を正確に読み取ることができ，課題を追求することに必要な資料を収集し活用できる。 ○統計資料や調査結果を活用して作品をつくることことができる。	・小テスト，定期テスト ・授業での発言内容 ・課題への取り組み，内容の理解 ・ノートやワーク等の作成状況，記述内容
④社会的事象についての知識・理解	「基本的な事項や用語を正しく理解できる。」 ○基本用語を理解し，正しく使うことができる。 ○社会的事象の因果関係や基本的背景を理解する事ができる。	・小テスト，定期テスト ・発言内容

※課題研究（郷土研究，新聞スクラップ，統計グラフコンクール）は①②③④に共通

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	【地理的分野】 第1部世界のさまざまな地域 第1章「世界の姿」 第2部日本のさまざまな地域 第4章「身近な地域の調査」 第1部第2章「世界各地の人々の生活と環境」 1～5	第1部-1 ・地球儀や世界地図を活用し，地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身につける。また，世界の地域構成をとらえ，大まかな世界地図を書くようにする。 第2部 ・三泗地区の地形図を活用し，身近な地域の観察や調査の方法を身につける。 第1部-2 ・世界の諸地域における人々の生活の様子とその変容について，自然および社会的条件と関連付けて考えることで，生活や環境の多様性を理解する。
二学期	第1部第2章「世界各地の人々の生活と環境」6～8 第3章「世界の諸地域」 第4章「世界のさまざまな地域の調査」 【歴史的分野】 第1章 歴史の流れをとらえよう 第2章 古代までの日本	第1部-3 ・世界の諸地域について，各州に暮らす人々の生活の様子を，テーマを設定して州別の地域的特色を理解する。 第1部-4 ・世界の諸地域の特性をとらえるために主題を設定し追及する。その際に調査を行う際の視点や方法を身につける。 第1章 ・歴史上の人物や出来事を通して，時代や年代の読み取り方を理解する。 第2章 ・日本列島での人々の生活と国家が形成されていった過程を，東アジアの動きと関連づけて理解する。あわせて国際的な文化が国風化していくことも理解する。
三学期	第2章 古代までの日本 第3章 中世の日本 第4章 近世の日本	第3章 ・武士政権の誕生，武士の支配の拡大，武家社会の発展という大きな時代の流れを理解させる。また，東アジア世界との密接な関わりと国内政治への影響を理解する。 第4章 ・織田・豊臣および江戸幕府によって安定した社会が生まれ，しだいに変化していく原因について，社会のしくみや経済の変化から考える。 ・ヨーロッパ文化の伝来から外交の変遷，産業や交通の発達と町人文化など近世の社会の特色を理解する。 （※ 2年2学期の内容も含めて記載）

第1学年 数 学 科

1 学習方法

使用教材	教科書： 未来へひろがる数学1、移行用補助教材		持ち物	・教科書
	補助教材： 数学の問題ノート（新学社）、 完成問題集、関数テキスト、図形テキスト			・テキスト ・ノート ・問題集2冊 ・ファイル
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認し、教科書を中心に学習を進める。 ・自分の考えを言葉や式で表現できる力をつける。 ・問題解決の筋道や過程を大切にする。 ・復習時に問題解決の過程が分かるようにノートをとる。 		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・復習として、教科書、数学の問題ノート、完成問題集の問題を繰り返し解く。（各自で答え合わせをし、定期的に提出をする。） ・教科書の例題を中心に予習をする。 		

2 評価について

評 価 観 点		評 価 の 方 法
① 数学への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関数を見いだしたりすることができる。 ○数学的に考え表現することに関心がある。 ○意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への意欲や態度 ・ノートやワーク等の作成 ・授業の振り返りの記述内容
② 数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用できる。 ○事象を、見通しをもって論理的に考察し表現することができる。 ○過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・小テスト ・課題への取り組み、内容の理解 ・授業での発言内容
③ 数学的な技能	<ul style="list-style-type: none"> ○正の数と負の数の四則計算ができ、数量の関係や法則を、方程式などを用いて表現し処理できる。 ○基本的な図形の作図や図形の計量をすることができる。 ○関数関係を的確に表現できる。 ○資料を整理したりするなど、技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・小テスト ・授業での発言内容 ・ノートやワーク等の記述内容
④ 数量や図形などについての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○正の数・負の数、文字を用いることの必要性和意味を知る。 ○一元一次方程式、平面図形についての性質や関係、空間における図形の位置関係、関数関係や比例・反比例、ヒストグラムや代表値などを理解し、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・小テスト ・授業での発言内容 ・ノートやワーク等の記述内容

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数 ・文字の式 	<ul style="list-style-type: none"> ・負の数の意味と表し方 ・正の数・負の数の加法と減法の計算 ・正の数・負の数の乗法と除法の計算 ・四則をふくむ式の計算 ・正の数・負の数を用いて表現し、処理すること ・素数の積で表すこと ・文字式の必要性和意味と表し方 ・式の値を求めること ・一次式の加法と減法の計算 ・一次式の乗法と除法の計算 ・数量の関係を等式、不等式に表すこと ・式の数量関係を読み取る
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式とその解の意味 ・方程式の意味と解くこと ・比例式と比例式を解くことの意味 ・方程式を使って、問題を解くこと ・変数と関数の意味 ・比例・反比例の式の意味と性質 ・条件から比例・反比例の式を求めること ・比例・反比例のグラフの意味とかき方 ・比例・反比例を使って、問題を解くこと ・基本の図形の意味と表し方 ・平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・空間図形 ・資料の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・作図の意味と基本の作図の利用 ・円の接線の性質 ・おうぎ形の弧の長さや面積の求め方 ・立体の見取り図、展開図 ・空間内の直線と平面の位置関係 ・平面図形を平行移動させたり、回転させたりして構成される立体 ・立体の投影図 ・立体の表面積、体積の求め方 ・度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形、累積度数、相対度数の必要性和意味 ・代表値の必要性和意味 ・近似値、有効数字の意味と表し方

第1学年 理科

3 主な学習計画について

1 学習方法

使用教材	教科書：未来へひろがるサイエンス1・マイノート（啓林館）		持ち物 ・教科書 ・理科の学習 便覧 ・ファイル ・筆記用具
	補助教材：理科の学習（浜島書店） 理科便覧（浜島書店） 基礎をきずく（浜島書店）		
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> 授業を集中して聞く。先生の問いには積極的に挙手して発表する。疑問、質問がある場合は挙手して発表する。 黒板の板書や注意事項、授業のポイントなどをノートに書く。 実験や観察の手順をしっかりと聞き、注意事項を守って実験や観察を行う。 実験や観察のレポートに結果や考察を書く。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 宿題が出たら、必ずその日のうちにやっておく。 提出物は期限どおりに提出できるように家庭で復習をしていく。 教科書の大事などところを何度も読み、重要用語を漢字で書けるようにする。 新聞やテレビなどを見て、自然現象や科学的事象に関心を持つ。 	

2 評価について

評価観点		評価の方法
①自然事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○自然事象の関心を持って、意欲的に学習できる。 ○要点を整理しながら、ノートをまとめることができる。 ○日常生活で見られる事象と関連づけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題（宿題やレポート）への取り組み、提出状況 ・ふり返りの記述 ・プリントやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト ・授業での発言
②科学的な思考・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、科学的な法則をもとに、応用して考えることができる。 ○観察・実験の結果を分析し解釈することができる。 ○考察を文章などで表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・学習課題、宿題・レポートへの取り組み ・ノートやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト
③観察・実験の技能	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に実験・観察に取り組み、正しい実験操作ができる。 ○実験・観察の結果を記録し、レポートを作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・学習課題、宿題・レポートへの取り組み ・ノートやワーク等の作成状況 ・定期・単元および小テスト
④自然事象についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○自然事象のしくみや法則について理解できる。 ○自然事象について、日常生活と関連づけて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・定期・単元および小テスト

	学習計画	学習内容・目標
一学期	序章：自然の中に生命の営みを見つけてみよう 植物のくらしとなかま	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の進め方や記録のしかたを理解する ・肉眼やルーペ・顕微鏡を使って、身近な生物を観察し、生物の調べ方の基礎を習得する。 ・顕微鏡観察を通じて、水の中にもさまざまな小さな生物が生活していることを理解する。 ・いろいろな花の観察を行い、その観察記録に基づいて、花の基本的なつくりの特徴を見いだす。 ・花のつくりと関連づけて、花のはたらきについて理解する。 ・植物の葉の観察を行い、葉の基本的なつくりや特徴を見いだす ・光合成を行うための原料や行われる場所を理解する。 ・呼吸と光合成の関係を理解する。 ・体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較し、脊椎動物が分類できることを見いだす。
	1章 花のつくりとはたらき	
	2章 水の栄養分を運ぶしくみ	
	3章 栄養分をつくるしくみ	
	4章 植物のなかま分け	
二学期	A章 動物のなかま分け	
	光・音・力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ・凸レンズのはたらきについて、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見いだす。 ・音はものが振動することによって生じ、伝わることを見いだす。 ・音の大きさや高さは発音体の振動の仕方に関係することを見いだす。 ・物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ・実験により2力がつり合うときの条件を見いだす。 ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだす。 ・実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を見いだす。 ・気体を発生させる方法や捕集法の技能を身につける。
	1章 光による現象	
	2章 音による現象	
	3章 力による現象	
三学期	身のまわりの物質	<ul style="list-style-type: none"> ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだす。 ・実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を見いだす。 ・気体を発生させる方法や捕集法の技能を身につける。
	1章 いろいろな物質とその性質	
	2章 いろいろな気体とその性質	
	3章 水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・物質が水にとける際の均一性を、粒子のモデルで理解する。 ・水溶液の濃度を表す方法について習熟する。 ・一定量の水にとける溶質の量は物質ごとに限度があり、温度により変化することを理解する。 ・物質の状態変化により物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 ・物質は融点や沸点を境に状態が変化し、沸点の違いによって物質の分離が出来る事を見いだす。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解する。 ・記録の整理により地震のゆれの伝わり方を見いだせる。 ・火山の活動の様子はマグマの性質が関係していることを理解する。 ・マグマからできる火成岩の特徴を理解する。 ・自然の恵みと火山災害・地震災害について考える。 ・地層のでき方や重なり方の規則性を理解する。 ・化石ができた時代や当時の環境を推測できる力を身につける。
	4章 物質のすがたとその変化	
生きて地球	1章 大地がゆれる	
	2章 大地が火をふく	
	3章 大地は語る	

第1学年 音楽科

1 学習方法

使用教材	教科書：中学校の音楽1（教育芸術社） 中学校の器楽（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集キミウタ（教育芸術社）	持ち物	・教科書 ・合唱曲集 ・ファイル ・リコーダー
学習方法	学校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を取め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ○自分の感性に従い、様々な方法で自分を表現していく。 ○音楽を通して仲間の価値観や考え方を共有し合い、自分の表現につなげる。 ○楽譜の書きこみや、調べ学習は、自分でしっかりとやっていく。	
	家庭	○生活の中にある音を意識したり、様々な音楽に触れて音楽性を伸ばし、感性を育てる。 ○普段何気なく行っている呼吸について、腹式呼吸を意識して生活してみる。 ○リコーダーの演奏で授業中にできなかったところを、きちんと練習しておく。 ○授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておく。	

2 評価について

評 価 観 点		評 価 の 方 法
① 音楽への関心・意欲・態度	○忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 ○演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 ○教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようとしている。	準備物の状況 毎回の授業の態度・姿勢 実技テスト（歌唱、リコーダー） 定期テスト
② 音楽表現の創意工夫	○アルトリコーダーの演奏で良い音色で演奏している。 ○音楽記号等を理解し、歌唱の際の音量、発音、発声に工夫して取り組んでいる。（変声に合わせる） ○歌唱の際に歌詞の内容を理解できている。 ○ブレスの仕方が音楽的である。	アルトリコーダーの音色、タンギングの様子、歌唱の際の声の大きさ・質（響き）、発声の様子、発音の工夫、毎回の授業での歌唱やリコーダーの演奏におけるフレーズのとらえ方やブレスの仕方、実技テスト（歌唱、リコーダー）、定期テスト
③ 音楽表現の技能	○アルトリコーダーの運指やタンギングが正確である。 ○歌唱の際の音量が適度である。 ○アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に生かしている。（音楽記号、標語の理解）	アルトリコーダーの試験曲でのタンギングや運指の正確さ、毎回の授業の様子（音程、リズム） 実技テスト（歌唱、リコーダー）
④ 鑑賞の能力	○範唱や範奏や仲間の演奏や発表を熱心に聴くことができる。 ○鑑賞曲を聴き、作曲者の意図心情を感じ取ることができる。 ○楽曲の雰囲気を感じ取れている。 ○楽曲の背景の知識理解。	鑑賞中の態度 鑑賞プリント 定期テスト

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	「校歌」（斉唱） 「Believe」（斉唱） 「翼をください」（斉唱） 「アルトリコーダー基礎・音階」（器楽） 「喜びの歌」（器楽） 「四季」（鑑賞） 期末テスト 合唱コンクールの取り組み	オリエンテーション ・姿勢や呼吸などの基本的なことの確認 ・明るい歌声で表情豊かに歌う。 ・リコーダーの運指を覚える。 ・リコーダーの響きに親しむ。 ・バロック時代の音楽を学ぶ。 ・ヴィヴァルディについて学ぶ。 ・弦楽合奏に親しむ。 ・実技テスト（リコーダー） ・定期テスト ・実技テスト（歌唱） ・合唱コンクールの選曲
二学期	合唱コンクールの取り組み 「あさがお」（混二） 「魔王」（鑑賞） 「期末テスト」 「ラヴァースコンチェルト」	・各クラスでの取り組み ・混声合唱の基礎を学ぶ。 ・シューベルトについて学ぶ。 ・ドイツ歌曲に親しむ。 ・定期テスト ・実技テスト（歌） ・リコーダーで2重奏に親しむ。 ・実技テスト（リコーダー）
三学期	「旅立ちの日に」（混三） 学年末テスト 「その先へ」（混二）	・歌詞の意味を考えのびのびと歌う。 ・卒業式に向けて感謝の気持ちを持って歌う。 ・実技テスト（歌・リコーダー） ・筆記テスト ・混声二部合唱のまとめ

第 1 学年 美術科

1 学習方法

使用教	教科書：美術1・美術との出会い（日本文教出版） 補助教材：美術資料（浜島書店）		持ち物 ・教科書・資料集 ・ファイル ・スケッチボックス ・鉛筆 他
	学校	<ul style="list-style-type: none"> 授業の必要なもの忘れず準備をして、チャイム着席の徹底。 授業中、先生の話をよく聞いて意欲的に制作にとりくむ。 道具の正しい使い方を理解して、あきらめずに最後まででいねいに制作を進める。 自分の感じたことを作品や言葉で伝える。 	
学習方法	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 普段からものをよく見ること。（見ることから美術は始まります） 日常生活の中の美術の役割を意識してみる。 社会の動きや暮らしの中に表現活動の主題を見つける。 自然や美術作品などに興味ある作家や作品を見つける。 授業で出された課題は、決められた期日までに必ずする。授業に必要な材料や道具を準備する。 	

2 評価について

評価観点		評価の方法
①美術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく生き生きと表現しようとしている。 ○向上しようとして創意工夫をし、努力しようとしている。 ○鑑賞することを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から積極的に学習にとりくもうとしている。 ・粘り強く最後までとりくむことができる。 ・準備物や用具の取り扱い、片づけができる。
②発想や構想の能力	<ul style="list-style-type: none"> ○「感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩などの構成などを工夫し、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」 ○自分らしく生き生きとして構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージを様々な角度から考えることができる。 ・イメージしたものを表現することができる。
③創造的な技能	<ul style="list-style-type: none"> ○「表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせて自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現することができる」 ○楽しく創造的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができる。 ・最後まで丁寧に仕上げることができる。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができる。
④鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ○「感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り見方を広げたり、美術文化の特性やよさに気付いたりできる」 ○いろいろな見方や感じ方、発想のしかた、知識等を学び、多様な表現の工夫や美しさなどを感じ取り味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ取ることができる。 ・作者の思いや意図を感じることができる。 ・自分の作品を鑑賞し評価することができる。

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	<p>「美術」についてオリエンテーション ・授業に対する心構えと授業のルール [鑑賞 美術との出会い「美術のはじまり」]</p> <p>[色鉛筆で描く]</p> <p>[美術館へ行く]</p> <p>[観察して描く] ・観察して描く ・感じて造る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〈規律ある態度・約束や規律を守る〉 ・作品を鑑賞し、自分なりの感じ方を持つとともに、作者が伝えたかったことを想像する。 ・色鉛筆の表現の基本を知る。 ・美術館のマナー、仕事を知り、美術を活用した職業を知る。 ・身近なものの美しさをスケッチする。 ・三原色の混色を工夫して色彩の幅を広げる。 ・身近なもの物の形を立体で表す・
二学期	<p>[デザイン（レタリングの基礎）] ・自分の名前</p> <p>[人物クロッキー] ・人物クロッキー</p> <p>[色彩の基礎・色の感情効果] ・色の整理 ・アクリルガッシュの使い方</p> <p>[名画との出会い] ・フィンセント・ファン・ゴッホ [鉛筆による明暗] ・グレースケール ・明暗の作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの効果や機能、使い方について基本的な技術を身につける。 ・作品を鑑賞し、それぞれのよさを味わう。 ・短い時間で全体のバランスよく線を使って表現する ・色の性質や分類について基礎的な技術を身につける。 ・アクリルガッシュの特性や基本的な着色のしかたを身につける。 ・色の組み合わせの効果や配色などの応用力を身につける。 ・様々な混色を学び、自分のイメージに合った色彩を作る。 ・作品を鑑賞し、自分なりの感じ方を持つとともに、作者が伝えたかったことを想像する。表現の面白さに気付く。 ・トーンの幅を理解し、明暗が表現する。 ・抽象表現での自由なイメージの構成や鉛筆による白黒表現の応用を生かす。
三学期	<p>[鉛筆デッサン] ・等角投影図法 ・斜投影図法 ・立体感の表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立体のとらえ方、表現方法を理解して描く。 ・鉛筆の明暗を使い分けて立体感を表現する。 ・作品を鑑賞し、それぞれのよさを味わう。

第 1 学年 保健体育科

1 学習方法

使用教材	教科書：保健体育（大修館）		持ち物 ・体操服 ・ジャージ ・ファイル （学校で用意）
	補助教材：中学体育実技（学研）		
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・体操服を忘れないようにする。（原則として見学時も体操服に着がえる） ・種目のルールや安全に気をつける。 ・仲間と協力する。 ・どの種目にも積極的に取り組む。（準備や片づけ等も積極的に取り組む） 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を見つけて身体を動かす。（ストレッチ・筋トレ・ジョギングなど） ・授業で身につけた知識や身のこなしを日常生活に生かす。 	

2 評価について

	評価観点	評価の方法
①運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業に積極的に取り組むことができる。 ○服装・頭髪・つめなど安全に活動できる態度でのぞむことができる。 ○準備・片付けを積極的に取り組むことができる。 ○苦手な種目に対しても積極的に取り組むことができる。 ○仲間に対して言葉がけができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻・見学日数 ・服装・頭髪等の参加態度 ・体操服・準備物の忘れ物 ・授業中の様子観察（準備・後片付け、集合・整列の態度、その他授業態度）
②運動や健康・安全についての思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ○正しいルールや動きを知り、そのルールや動きを意識できる。 ○施設や用具の安全を常に確認することができる。 ○個人やチームの課題をみつけ、目標達成のために練習や課題（作戦）を工夫することができる。 ○集団の中でどのように動いたらいいか考えることができる。 ○学んだことを振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の技能テスト ・種目の記録 ・期末テスト ・プリントの内容 ・授業中の様子観察（ゲーム・練習の様子など）
③運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい技能を身につけ、設定した目標を達成することができる。 ○もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 ○練習やゲームを通して集団的スキルや個人的スキルを高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の技能テスト ・種目の記録 ・授業中の様子観察（ゲーム・練習の様子など）
④運動や健康・安全についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○健康・安全について理解できる。 ○ルールや技能のしくみについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト ・プリントの内容 ・授業中の様子観察（ゲーム・練習の様子など）

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 ・からだづくり ・集団行動、ラジオ体操 ・新体力テスト ・陸上競技（短距離、リレー） ・球技：ネット型（バレーボール） ・水泳 ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの多様化。 ・運動を通して、体の状態や身のこなしを整える。 ・集団行動での基本的な行動の仕方。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定をする。 ・最大スピードを高める。 ・タイミングの合ったバトンパスを行う。 ・ボールの扱いや、体の移動の仕方に慣れる。 ・クロール、平泳ぎを中心に泳法の一連の動作を確かめ泳ぐ。 ・体の発育、発達。呼吸器、循環器の発達。 ・性機能の成熟
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭練習 ・器械運動（マット） ・球技：ベースボール型（ソフトボール） ・持久走 ・剣道 ・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・回転、支持などの動きを滑らかにする。 ・キャッチボール、バッティングの基本的な技術を身につける。 ・特定の長い距離を自分に適したペースで走り通す。 ・礼儀を重んじる。規則を厳守する。 ・基本となる動作や技で正確に打ち込む。 ・運動やスポーツの魅力と学び方
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス ・球技：ゴール型（ハンドボール・サッカー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて動く。 ・パス、ドリブルを使って、仲間と協力してシュートまでできる。 ・身につけた技能を用いてゲームをする。

第1学年 技術科

1 学習方法

使用教材	教科書：新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）		持ち物 ・教科書 ・ノート
	補助教材：		
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・実習中心になるため、指示をよく聞きましょう。 ・失敗を多く経験するつもりでどんどん取り組みましょう。 ・黒板に書いたことだけでなく、自分が気になることや覚えておきたいことはノートにメモをしよう。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に教科書の対応するページをよく読んでおこう。 ・宿題は丁寧にこなし、期限内に提出しましょう。 ・身の回りの製品や仕組みに目を向けて生活をしよう。 	

2 評価について

評価観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割に関心を持つ。 ○コンピュータや道具を用いて積極的に学んだ知識と技術を活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や発言の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
②生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ○生活と技術との関わりに関する課題を見つけられる ○情報に関する技術を適切に評価し、工夫・活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・活動や発言の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
③生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> ○情報やコンピュータ、道具や作品の基本的な構造に関する知識や技術を身につけ、それらを活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・活動や作品の内容 ・ワークシート ・提出物や宿題の内容
④生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○生活や産業の中での技術の役割について理解し、情報やコンピュータ、道具の活用に必要な基礎的な知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ワークシート ・提出物や宿題の内容

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
後期	技術と生活のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの技術を見つけよう・技術の発達 ・生活の中の情報技術・コンピュータの機能と構造・ハードウェアとソフトウェア
	コンピュータの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化と情報の量
	情報とコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をやり取りする仕組み、個人を特定する仕組み、情報通信ネットワーク
	情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル・情報技術の特性・安全に利用するための技術・知的財産権
	情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・各表現手段の特徴・素材の編集に関する基礎知識・情報の受け手を意識した設計
	デジタル作品の設計・製作	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会・情報技術と産業・環境
	情報技術の適切な評価と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システム・情報処理の手段
	プログラムによる計測・制御	
	知的財産権と発明	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおける発明・発明をしよう
	材料と加工，ものづくりにおける工夫	

第1学年 家庭科

1 学習方法

使用教材	教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍） 補助教材：学習ノート家庭分野 合冊版（東京書籍）		持ち物 ・教科書 ・学習ノート家庭分野
	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要なものを準備する。 ・積極的に挙手をして、授業に参加する。 ・先生の話や友達の意見を聞いて、プリントの記入をする。 ・実習時は指示をよく聞き、困ったことや苦手なことはグループで協力しながら作業を進める。 ・プリント、宿題、作品は期限を守って提出する。 	
学習方法	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことをもとに家での生活を振り返り、よりよくするために生かす。 ・包丁やガスを安全に使えるように、練習する。 ・実習でできるようになったことを家でも実行する。 ・新聞やテレビなどからの生活にかかわる情報に関心を持つ。 	

2 評価について

評価観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	○生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	・活動への参加の仕方や態度 ・課題への取り組み ・提出物・授業への準備
②生活を工夫し創造する能力	○生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。	・授業での工夫 ・提出物
③生活の技能	○生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	・実習での様子 ・技能テストの様子
④生活や技術についての知識・理解	○生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	・定期テスト

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
後期	<p>〈食生活〉</p> <p>1. 食生活と栄養</p> <p>①食事の役割を考えよう</p> <p>②栄養素の種類とはたらきを知ろう</p> <p>2. 献立づくりと食品の選択</p> <p>①食品に含まれる栄養素を知ろう</p> <p>②栄養素の種類とはたらきを知ろう</p> <p>3. 献立づくりと食品の選択</p> <p>①食品に含まれる栄養素を知ろう</p> <p>②バランスのとれた食生活を考えよう</p> <p>③食品の選び方を考えよう</p> <p>4. 調理と食文化</p> <p>①日常食の調理をしよう</p> <p>調理実習 1 調理実習 2 調理実習 3</p> <p>②地域の食文化を知ろう</p> <p>③よりよい食生活をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割を理解し、健康によい食習慣について考えることができる。 ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・中学生の時期に必要な栄養の特徴を考えることができる。 ・身近な食品の栄養的な特徴を知る。 ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・中学生の時期に必要な栄養の特徴をえることができる。 ・身近な食品の栄養的な特徴を知る。 ・必要な栄養を満たす1日分の献立を考えることができる。 ・身近な食品の品質を見分けることができる。 ・用途に応じて、食品を適切に選択することができる。 ・安全と衛生に気をつけて調理をすることができる。 ・食品の調理上の性質を知り、適切に調理することができる。 ・積極的かつ協力して調理作業（準備～後片づけ）に取り組むことができる。 ・地域の食材を生かした日常食などの調理ができる。 ・地域の食文化について理解できる。 ・食生活を取り巻く問題について考えることができる。

第1学年 英語科

1 学習方法

使用教材	教科書：NEW CROWN ENGLISH SERIES 1（三省堂）		持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・フレンドノート ・英語ノート ・ワーク2冊
	補助教材：フレンドノート（前期・後期）英語ノート（正進社） 語順ドリル（正進社） E-PLUS 1（秀学社）			
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をせず、授業に意欲的に参加しましょう。 ・間違いを恐れず、たくさん英語で話したり書いたりしましょう。 ・積極的に大きな声で音読しましょう。 		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の新出単語や、本文をノートにまとめましょう。 ・学習したことは、繰り返し読み、書いて覚えましょう。 ・教科書本文を暗唱できるまで音読しましょう。 ・ワークなどを使い、練習問題にも慣れておきましょう。 		

2 評価について

	評価観点	評価の方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	意欲を持って授業に取り組み、挙手発言や、ペアまたはグループ等での言語活動に参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における態度・挙手・発言 ・宿題・言語活動への参加の仕方や態度 ・ノート・プリント・ワークの内容
②外国語表現の能力	<p>【話すこと】学んだモデル文を参考に、場面に合わせて、話したり、聞いたりできる。その際には、相手の目を見て、会話ができる。</p> <p>【書くこと】学んだモデル文を参考に、場面に合わせて書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言の内容 ・パフォーマンステスト ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み
③外国語理解の能力	<p>【聞くこと】身近な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>【読むこと】身近な話題について、必要な情報を読みとることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言の内容 ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み
④言語・文化についての知識・理解	<p>【言語】学習した文法事項、場面や状況にふさわしい表現を身につけている。</p> <p>【文化】各国の文化や風習・習慣などの違いについて理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言の内容 ・定期テスト ・小テスト ・授業での課題への取り組み

3 主な学習計画について

	学習計画	学習内容・目標
一学期	Get Ready1～5 Lesson 1 I am Tanaka Kumi Lesson 2 My School Lesson 3 I like Soccer Project 1 自己紹介をしよう Lesson4 Field Trip	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語に親しみ、書くことができる。 ・あいさつや簡単な自己紹介ができる。 ・I am/You are～を使って説明や質問ができる。 ・This/That is～, What is this?, She/He is～.を使って学校のことを説明したり、質問したりできる。 ・一般動詞を使い、説明したり質問したりできる。 ・名詞の単数形と複数形を使い分けることができる。 ・How many～?を使って、物の数をたずねることができる。 ・命令文を理解し、使うことができる。
二学期	Lesson 5 Our New Friend Lesson 6 My Family Project 2 友達にインタビューしてみよう Lesson 7 Sports for Everyone	<ul style="list-style-type: none"> ・Who is～?を使って「～は誰ですか?」とたずねることができる。 ・代名詞の目的格を活用できる。 ・三人称単数現在形のときに動詞を変化することができる。 ・インタビューをして友達の紹介記事を書くことができる。 ・canを用いて「～することができる」と表現できる。
三学期	Lesson 8 School Life in the USA Lesson 9 Four Seasons Project 3 大切なものを紹介しよう Let's Read Alice and Humpty Dumpty 一年間の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形を理解し、使うことができる。 ・アメリカの中学校生活のメールを読み、興味を持つ。 ・一般動詞の過去形の文を理解し、使うことができる。 ・絵や写真を見せながら、自分にとって大切なものを Show & Tell で紹介することができる。 ・童話を読んであらすじを理解することができる。 ・一年間に学習した英語を用いて自己表現ができる。